

今村復興大臣の福島県訪問ぶら下がり会見録
(平成29年3月26日(日) 1540～1547 於) 福島県須賀川市)

1. 発言要旨

どうも皆さん、ご苦労さまでございます。

今日は御案内のように、東北中央自動車道阿武隈東道路の開通式に行き、そして、福島復興産業人材育成塾の卒塾式に行き、今はこの藤沼ダムのところに来たということでもあります。

最初の開通式では、その場の挨拶でも言いましたけれども、本当にたくさんの方がお見えになって、そして、また立谷相馬市長の話で、おじいさんが自転車に荷物を積んで、娘のところへ届けていったんだという、そういう話を聞いていると、この道路ができてよかったなという感じを、私も共にしたところでもあります。

この道路は太平洋側と、そして、内陸、そして、さらには日本海を結ぶ大きなやはり動脈になってくると思います。是非、一日も早くこれを完成してやっていくと。目の前に国土交通大臣がいたものですから、顔を見ながら、とにかく早くやってよということでもお願いもしたところではありますが、できれば私が勝手に言うのも何ではありますが、せっかくやるんならオリンピックまでに間に合えばいいなど、私は個人的にはそういうふうに思っています。

それから、これを使って是非いろんな地域の活性化と生業の再生等々を含めて、是非活用していただきたいなというふうに思っています。

それから、福島復興産業人材育成塾の卒塾式ではありますが、これは特に塾長の大山さんが、皆さんも御存じかと思いますが、本当に熱意あふれる産業の再生と、それにはやっぱり人材育成が一番大事だという熱い思いを持ってやっておられるわけでもあります。

講師の人もすばらしい人をそろえていただいて、12名の塾生も本当に頑張っていたいただいて、しっかり勉強してもらった。随分自信に満ちた顔をしておられたというふうに思っております。

是非これからは、いろいろ伺ったお話を実践の場で生かしていただいて、そしてまたさらに、いろんな前進をしながら、本当に地域の活性化に役立ってもらいたいなと思います。

そして、今日も言いましたが、その12名だけじゃなくて、そのまわりの人たちにも是非その成果を与えていただいて、みんなでもって盛り上げていこうということをやっていたいただければ幸いです。

加えて申し上げますが、今日は田村市ご当地の「八彩(やさい)カレー」というのも頂きまして、あれを見るとやはりあの田村地域の何とかしていくぞと、やるぞという雰囲気満ちているな

と書いていましたので、今回のこの人材育成とマッチングすれば、これから大きな力になっていくんじゃないかなというふうに思った次第であります。

それから、この藤沼ダムであります。今日現地に来て本当にこういうところが壊れたのかと、亡くなられた方に心からお悔やみを申し上げるとともに、二度とそういうことが起きないようにしっかりとしたダムを造って、これからの地域の活性化、特に農業関係でありますとか、それから、非常に風光明媚な要素を持っておりますので、公園としての機能も充実して、これをまた地域振興の柱にさせていただければというふうに思っております。

工事の断面図等々を見ましたが、今度はしっかり基礎も食い込んでやってありまして、ほかのどこの農業用ダムといいますか、これはある意味では、ため池の大きなものであります。こんなに立派な貯水池はないんじゃないかなというふうにも思った次第であります。

以上です。

2. 質疑応答

(問) 間もなく新年度が始まるということで、復興・創生期間の2年目ということで、改めて今日の視察を通して復興・創生期間2年目の抱負を改めてお伺いいたします。

(答) 御案内のとおり、福島は1Fの廃炉あるいは除染に関連する大きな課題があります。これは中長期にわたってしっかり取り組まなければいけないわけでありまして。一方で、やはり地域の生業の再生といったものも大事でありますから、そのためにいろんな環境整備をしていくということが大事であります。道路もその一環でもありますから、そういった出来上がったものをうまくやはり活用しながら、とにかく地域が元気になっていただくようにと。そこにこれから2年目は最大限の力を注いでいきたいというふうに思っています。

(問) 八彩カレーを食べられたということで、味はどんな感じだったんですか。

(答) おいしかったですよ。市内で9軒ぐらやっているようです。今日頂いたのは非常にマッチングがよくて、ドライカレーみたいなのがあって、それにまたルーがかかって、そして、今、冬場ですけれども、ハウスで作ってくれたらしいんですが、青もの野菜がのっていまして、非常にマッチングというのが、辛いのと野菜の甘味が合って、大変おいしかったですよ。

いろいろ工夫もしてあって、それぞれ9つの店がオリジナルを競ってやってありますから、これをもっと名物にすればいいじゃな

いかと思った次第であります。

(問) ほかの大臣にもPRされて、食べに来ていただけるような感じで。

(答) ええ、もちろんそのうちに。

(問) 今日、須賀川の藤沼ダムを視察していただきまして、いつもは原発事故だとか、津波の被災地ということで、東日本大震災は注目される機会があると思うんですけども、こういう内陸部の風化だとか被災の状況とか、そういったためにはどのようなところが大事だなと思いますか。

(答) とかく、話題に上ることが少ないような感じもあります。しかし、やはりここのダムもあれだけの考えられない、やはり被災をしているわけなので、そういうところを心配りをしながら、やっぱり元気になっていただくようなことをちゃんとやっていきたいというふうに思っているところであります。

(以 上)